

別記様式 2 - 2 (第 7 条第 2 項関係)

年 月 日

東京都知事 殿

(提供依頼申出者：病院等の管理者)

住所

(病院等の所在地)

氏名

(病院等の名称及び管理者の職氏名)

都道府県がん情報等提供依頼申出書 (病院等用)

標記の件について、別紙のとおり都道府県がん情報等の提供の申出を行います。

記

申出番号

※ 事前相談時に通知された番号を記入すること。

根拠規定 (該当する根拠にチェック)

- がん登録等の推進に関する法律 (平成25年法律第 111号) 第20条
- 東京都がん登録事業実施要綱 (30福保保健第 915号) 第12条

添付書類 (添付した書類にチェック)

- 別記様式 2 - 3 「情報の提供の申出に係る誓約書」 (第 7 条第 2 項関係)
- 研究計画書等
- 集計表の様式案等
- 調査研究等の委託等に係る契約書等の写し (第 8 条第 4 項関係)
- 別記様式 4 - 2 「調査研究等の委託契約締結未了の届出 (一部委託用)」に掲げる事項の①から⑨までの事項を記載した覚書等の写し (第 8 条第 4 項関係)
- 別記様式 4 - 2 「調査研究等の委託契約締結未了の届出 (一部委託用)」 (第 8 条第 4 項関係)

## 別記様式 2-2 (第7条第2項関係) 別紙

### 1 情報の利用目的

- 院内がん登録のため
- がんに係る調査研究のため

### 2 利用者の範囲

- ※ すべての利用者について記載すること。
- ※ がんに係る調査研究のための場合において、所属機関が複数ある場合は、すべての所属機関及び所属する機関における職名又は立場を記載すること。
- ※ がんに係る調査研究のための場合は、調査研究全体の安全管理の責任を担う「統括利用責任者」、利用場所が複数ある場合は各利用場所において情報の安全管理の責任を担う「利用責任者」を必ず役割欄に記載すること。

氏名	所属機関・職名	役割	利用場所

### 3 利用する情報の範囲

診断年次

### 4 調査研究方法

- ※ 情報の利用目的が「院内がん登録のため」の場合は、記載不要。

#### ア 研究課題名

- ※ 研究計画書等を添付すること。

#### イ 調査研究方法

- ※ 調査研究の概要及び当該調査研究において前記アの「利用する登録情報」がどのように使われるのか、「利用する登録情報」と使用方法や利用目的の説明が1:1となるように具体的に記載すること。
- ※ 集計表を作成する調査研究の場合は、作成しようとしている集計表の様式案を添付すること。

### 5 利用期間

- ※ 必要な限度の利用期間を記載すること。
- ※ 記載例：「情報の提供を受けた日から20XX年〇月〇日まで」

### 6 利用する環境、保管場所及び管理方法

- ※ 利用者の安全管理措置に基づき、具体的に記載すること。

#### ア 情報の利用場所の安全管理措置状況

(組織的)

- 統括利用責任者は、個人情報の漏洩等の事故発生時の対応手順を整備している。

(物理的)

- 利用責任者は、利用場所への入室を許可する者の範囲を明らかにしている。
- 利用責任者は、利用場所の入退室時の手続きを明らかにしている。

\*以下、院内がん登録のための場合において、最新の「院内がん登録運用マニュアル」(発行：国立がん研究センター)に完全に則っている場合はチェック不要(左記以外の場合は必要)

- \*  個人情報の利用場所及び保存区画は、他の業務から独立した部屋である。
- \*  機器類(プリンタ、コピー機、シュレッダーなど)は、他の業務と共用せず、利用場所内に設置している。
- \*  個人情報の保存区画の施錠は、前室と利用場所等、二重にしている。

イ 情報の利用時の電子計算機等の安全管理措置状況

(技術的)

- システム管理者によって管理されている不正侵入検知・防御システム及びウイルス対策機能のあるルータで接続されたネットワーク環境を構築している。
- 情報を取り扱うPC及びサーバは、ログインパスワードの設定を行っている。
- ログインパスワードを8桁以上に設定し、第三者が容易に推測できるものは避けている。
- ログインパスワードを定期的に変更し、以前設定したものの使い回しは避けている。
- ログインパスワードを第三者の目につくところにメモしたり、貼付したりしていない。
- 外部ネットワークと接続する電子媒体(USBメモリ、CD-Rなど)を、情報を取り扱うPC等に接続する場合は、ウイルス等の不正なソフトウェアの混入がないか、最新のウイルス定義パターンファイルを用いて確認している。
- 情報を取り扱うPC等は、安全管理上の脅威(盗難、破壊、破損)、環境上の脅威(漏水、火災、停電)からの保護にも配慮している。
- 個人情報を取り扱うPC等は、スタンドアロン又は物理的若しくは論理的に外部ネットワークから独立した有線環境である。
- 情報を取り扱うPC及びサーバにチェーン固定等の盗難防止策を講じている。

\*以下、院内がん登録のための場合において、最新の「院内がん登録運用マニュアル」(発行：国立がん研究センター)に完全に則っている場合はチェック不要(左記以外の場合は必要)

- \*  個人情報を取り扱うPC及びサーバは、生体認証と他の方法との組み合わせによる多要素認証としている。

ウ 情報、中間生成物及び成果物を保存する媒体の種類及びその保管場所並びに保管場所の組織的、物理的及び技術的安全管理措置状況

(物理的)

- 情報を含む電子媒体及び紙媒体を保管する鍵付きキャビネット等を整備している。
- 情報を保存するロッカー、キャビネットは、施錠可能な利用場所に設置している。

\*以下、院内がん登録のための場合はチェック

- \*  提供された都道府県がん情報、地域がん登録情報は、当医療機関において、①院内がん

登録データベースへ保存し、病院の診療情報と区別する、②カルテに転記しない、③他のデータベース等への提供は行わない、④本件院内がん登録にのみ利用する。

#### 7 調査研究成果の公表方法及び公表予定時期

※ 複数の媒体で公表予定の場合は、公表予定時期を含めてすべて記載すること。

※ 記載例：「20XX年〇月頃 学術集会にて発表予定」「20XX年〇月頃 論文投稿予定」「20XX年〇月頃 HPにて公表予定」。

#### 8 情報等の利用後の処置

※ 記載例：「情報の移送用のDVD：裁断」「サーバ・コンピュータ内の情報及び中間生成物：〇〇を使用しデータ消去」「中間生成物の印刷物：△△において溶解」

#### 9 その他

※ 事務担当者及び連絡先等を記載すること。その他、必要事項があれば記載すること。

事務担当者及び連絡先

氏名：

TEL：

MAIL：

住所：